



平成22年6月期 第3四半期決算短信

平成22年5月10日

上場取引所 東

上場会社名 伏木海陸運送株式会社
 コード番号 9361 URL <http://www.fkk-toyama.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 清夫
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 吉川 辰彦

TEL 0766-45-1111

四半期報告書提出予定日 平成22年5月14日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年6月期第3四半期の連結業績(平成21年7月1日～平成22年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年6月期第3四半期	6,776	△15.8	△88	—	△66	—	△79	—
21年6月期第3四半期	8,047	—	310	—	244	—	149	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年6月期第3四半期	△6.17	—
21年6月期第3四半期	11.59	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年6月期第3四半期	17,154	7,285	40.3	536.70
21年6月期	13,422	7,193	53.0	551.43

(参考) 自己資本 22年6月期第3四半期 6,917百万円 21年6月期 7,109百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年6月期	—	3.50	—	3.50	7.00
22年6月期	—	3.00	—	—	—
22年6月期 (予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年6月期の連結業績予想(平成21年7月1日～平成22年6月30日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,100	△11.3	110	△66.7	110	△63.6	40	△80.9	3.10

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有
新規 1社 (社名 チューゲキ株式会社) 除外 1社 (社名)
(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
- | | |
|-----------------|---|
| ① 会計基準等の改正に伴う変更 | 無 |
| ② ①以外の変更 | 無 |
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- | | | | | |
|----------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 22年6月期第3四半期 | 13,077,000株 | 21年6月期 | 13,077,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 22年6月期第3四半期 | 187,927株 | 21年6月期 | 184,534株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 22年6月期第3四半期 | 12,890,844株 | 21年6月期第3四半期 | 12,907,692株 |

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

・定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間におけるわが国経済は、急激な景気の悪化から持ち直しつつあり、最悪期を脱した感があるものの、本格的な景気回復に向けた動きは鈍く、一部で回復の兆しが見られるものの、当面は不透明かつ流動的な事業環境が続くものと予想されます。

こうした経済情勢のもと、当社グループを取り巻く事業環境は、港湾運送等物流業界においては、依然として主力の港湾貨物の取扱いが大幅に減少し、取扱量は509万2千トンとなり前期比113万4千トン(△18.2%)の減少となり、引き続き厳しい状況が続いております。

このような環境下、当社グループは設備投資の圧縮と経費の削減に取り組んで参りましたが、当第3四半期の売上高は、67億7千6百万円(前年同期比15.8%の減収)、営業損失は8千8百万円(前年同期は3億1千万円の営業利益)、経常損失は6千6百万円(前年同期は2億4千4百万円の経常利益)、四半期純損失は7千9百万円(前年同期は1億4千9百万円の四半期純利益)となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりです。

[港運事業]

港運事業の売上は、荷動きの低迷により34億1千2百万円で前期比12億4千4百万円(△26.7%)の減収、営業利益は1千5百万円となり前期比5億5千2百万円(△97.2%)減益となりました。取扱量は262万1千トンで前期比75万1千トン(△22.3%)の大幅な減少となりました。主な輸移入貨物は、ウッドチップ、石炭、コンテナ貨物、オイルコークス、工業塩、原木・製材、アルミニウム・インゴット、鋼材、クローム鉱石等であります。輸移出貨物は、韓国、中国、東南アジア向けコンテナ貨物とロシア向け自動車・雑貨並びにスクラップ、パルプ等であります。

[通運事業]

通運事業の売上は、大手製紙工場が閉鎖したことにより、JRコンテナの取扱いが大きく減少し、1億5千7百万円で前期比1億2千8百万円(△44.9%)の減収、営業損失は6千7百万円となりました。

取扱量も1万4千トンで前期比2万8千トン(△66.1%)の減少となりました。

主な取扱貨物は、JRコンテナ貨物等であります。

[倉庫業]

倉庫業の売上は、2億4千万円で前期比1千4百万円(△5.9%)の減収となりましたが、営業利益は4千3百万円となり前期比1千万円(32.7%)の増益となりました。

取扱量は35万8千トンで前期比8万トン(△18.3%)の減少となりました。

主な保管貨物は、オイルコークス・ダスト、巻取紙、製材・集成材、化学薬品、合金鉄、化成品、その他の輸出入品であります。

[貨物自動車運送業]

貨物自動車運送業の売上は、工場稼働率の低下によりウッドチップ、石炭等の輸送量が減少し、16億3千3百万円で前期比2億1千1百万円(△11.4%)の減収、営業利益は1千3百万円で前期比5百万円(75.6%)の増益となりました。

取扱量は、209万8千トンで前期比27万4千トン(△11.6%)の減少となりました。

主な輸送貨物は、ウッドチップ、国際海上コンテナ貨物、炭材、アルミニウム・インゴット、工業塩、石膏、合金鉄、原木・製材、タイヤチップ等であります。

[ローリー運送事業]

ローリー運送事業の売上は、企業の生産活動の低下に伴う軽油・重油の出荷量の落ち込みにより5億2千9百万円で前期比7千3百万円(△12.2%)の減収となりましたが、営業利益は4百万円で前期比3千2百万円の増益となりました。

[不動産貸付業]

不動産貸付業の売上は、新たに連結子会社となったチューゲキ株式会社の売上が寄与したことにより、2億6千9百万円で前期比2億3千9百万円の増収、営業利益は1億1千7百万円で前期比1億1千8百万円の増益となりました。

[その他事業]

その他事業の売上は、10億1千6百万円で前期比5千2百万円(5.4%)の増収となりましたが営業損失は2千8百万円で前期比5千9百万円の減益となりました。

これは主に旅行部門の減収によるものです。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期の財政状態は、前連結会計年度末と比較して、資産は37億3千2百万円増加、負債は36億3千9百万円の増加、純資産は9千2百万円増加いたしました。

資産・負債・純資産の増加はチューゲキ(株)が新たに連結子会社に含まれたことなどによります。

資産の増加の主な要因は、建物及び構築物が6億9百万円、土地が27億4千万円増加したことなどです。

負債の増加の主な要因は、長期借入金が15億9百万円、預り保証金が8億4千6百万円、短期借入金が4億8千万円増加したことなどです。

純資産の増加の主な要因は、利益剰余金が1億6千3百万円減少し、少数株主持分が2億8千4百万円増加したことなどです。

(キャッシュ・フローの状況)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純損失となったものの、減価償却費の増加、法人税の還付などにより、当第3四半期連結累計期間は、3億1千9百万円の収入超過（前年同期は、1億6千8百万円の収入超過）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、子会社株式や有形固定資産の取得による支出等により7億2千5百万円の支出超過（前年同期は、3億3千8百万円の支出超過）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは短・長期借入金の純増、親会社による配当金の支払等により5億1千5百万円の収入超過（前年同期は、2億5千9百万円の収入超過）となりました。

これらの結果、当第3四半期における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比較して1億9百万円増加し、当第3四半期残高は5億1千7百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年2月5日に公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」に記載の連結業績予想につきましては、現時点において、今年度の第4四半期の物流動向が不透明であり、当社グループの主力事業である港湾貨物取扱量についても引き続き流動的に推移することが予想されることから連結業績予想の修正は行っておりません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

チューゲキ株式会社について、株式を取得したことにより、第1四半期連結会計期間から連結子会社に含めることとしました。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	648,352	477,841
受取手形及び売掛金	1,352,492	1,346,861
商品	66,300	—
貯蔵品	17,203	13,684
繰延税金資産	61,436	12,925
その他流動資産	339,690	256,854
貸倒引当金	△19,998	△257
流動資産合計	2,465,477	2,107,908
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,820,777	5,111,713
減価償却累計額	△3,425,626	△3,325,810
建物及び構築物(純額)	2,395,150	1,785,902
機械装置及び運搬具	4,153,641	4,119,015
減価償却累計額	△3,413,607	△3,316,258
機械装置及び運搬具(純額)	740,034	802,757
土地	7,805,182	5,064,835
建設仮勘定	18,268	—
その他有形固定資産	474,548	464,920
減価償却累計額	△400,152	△393,118
その他有形固定資産(純額)	74,395	71,801
有形固定資産合計	11,033,031	7,725,297
無形固定資産		
その他無形固定資産	49,931	64,573
無形固定資産合計	49,931	64,573
投資その他の資産		
投資有価証券	2,072,559	2,010,128
長期貸付金	737,573	726,168
繰延税金資産	304,629	320,546
その他長期資産	491,604	467,917
貸倒引当金	△124	△137
投資その他の資産合計	3,606,242	3,524,623
固定資産合計	14,689,206	11,314,494
資産合計	17,154,683	13,422,403

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	666,483	432,902
短期借入金	1,304,675	824,586
1年内返済予定の長期借入金	1,250,116	959,204
未払金	51,124	41,055
未払法人税等	52,775	14,199
未払消費税等	43,612	44,712
賞与引当金	98,816	28,718
役員賞与引当金	14,292	22,930
その他流動負債	367,968	606,541
流動負債合計	3,849,864	2,974,849
固定負債		
長期借入金	3,193,851	1,975,041
繰延税金負債	388,210	—
社債	100,000	—
退職給付引当金	1,085,415	1,022,535
役員退職慰労引当金	234,808	229,084
負ののれん	147,776	17,948
長期預り保証金	846,202	—
その他固定負債	22,739	9,798
固定負債合計	6,019,004	3,254,407
負債合計	9,868,869	6,229,256
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,850,500	1,850,500
資本剰余金	1,367,507	1,367,513
利益剰余金	3,534,584	3,698,543
自己株式	△49,162	△48,301
株主資本合計	6,703,428	6,868,254
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	214,183	241,006
評価・換算差額等合計	214,183	241,006
少数株主持分	368,201	83,885
純資産合計	7,285,814	7,193,146
負債純資産合計	17,154,683	13,422,403

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年7月1日 至平成21年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年7月1日 至平成22年3月31日)
売上高	8,047,339	6,776,165
売上原価	7,182,935	6,179,028
売上総利益	864,404	597,137
販売費及び一般管理費		
役員報酬	94,984	104,702
給料及び手当	152,511	189,091
賞与引当金繰入額	24,834	18,583
退職給付引当金繰入額	19,566	18,364
その他の人件費	43,098	56,842
減価償却費	18,506	60,810
その他一般管理費	200,195	237,405
販売費及び一般管理費合計	553,697	685,799
営業利益又は営業損失(△)	310,706	△88,662
営業外収益		
受取利息	8,521	8,981
受取配当金	3,531	32,046
助成金収入	—	28,074
負ののれん償却額	—	26,327
雑収入	28,634	20,248
営業外収益合計	40,687	115,677
営業外費用		
支払利息	52,807	85,088
持分法による投資損失	37,136	3,325
雑支出	16,834	5,504
営業外費用合計	106,777	93,917
経常利益又は経常損失(△)	244,615	△66,902
特別利益		
固定資産売却益	14,447	11,459
貸倒引当金戻入額	23,411	424
その他特別利益	1,334	9,705
特別利益合計	39,192	21,589
特別損失		
固定資産売却損	2,678	741
固定資産除却損	7,175	2,292
投資有価証券評価損	5,846	1,815
投資有価証券売却損	835	—
その他特別損失	—	5,802
特別損失合計	16,535	10,652
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	267,273	△55,964
法人税、住民税及び事業税	178,260	15,838

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年7月1日 至平成21年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年7月1日 至平成22年3月31日)
法人税等調整額	△68,149	△14,959
法人税等合計	110,110	879
少数株主利益	7,602	22,656
四半期純利益又は四半期純損失(△)	149,559	△79,500

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第3 四半期連結累計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成21年3月31日)	当第3 四半期連結累計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成22年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	267,273	△55,964
減価償却費	406,484	413,598
負ののれん償却額	—	△26,327
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△23,380	△5,049
賞与引当金の増減額(△は減少)	118,229	67,059
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△15,517	36,802
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	12,334	△29,725
未払費用の増減額(△は減少)	△258,731	△260,121
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△6,003	△8,637
受取利息及び受取配当金	△12,052	△41,027
支払利息	52,807	85,088
持分法による投資損益(△は益)	37,136	3,325
有形固定資産売却損益(△は益)	△11,769	△10,717
有形固定資産除却損	7,175	2,292
投資有価証券売却損益(△は益)	835	—
投資有価証券評価損益(△は益)	5,846	1,815
売上債権の増減額(△は増加)	405,105	81,609
たな卸資産の増減額(△は増加)	11,772	△33,701
仕入債務の増減額(△は減少)	△170,750	45,641
未払消費税等の増減額(△は減少)	10,611	△7,050
その他	△144,603	11,319
小計	692,802	270,227
利息及び配当金の受取額	11,140	40,370
利息の支払額	△55,542	△85,322
法人税等の支払額	△480,101	94,639
営業活動によるキャッシュ・フロー	168,299	319,914
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△99,700	△97,500
定期預金の払戻による収入	72,000	66,000
有形固定資産の取得による支出	△258,910	△324,595
有形固定資産の売却による収入	14,447	75,401
無形固定資産の取得による支出	△41,238	—
子会社株式の取得による支出	—	△271,617
投資有価証券の取得による支出	△8,731	△40,826
投資有価証券の売却による収入	13,162	—
短期貸付金の増減額(△は増加)	3,600	△208,707
長期貸付けによる支出	2,700	△51,000
長期貸付金の回収による収入	△75,374	39,594
その他	39,444	87,282

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年7月1日 至平成21年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年7月1日 至平成22年3月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー	△338,600	△725,968
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	312,361	332,189
長期借入れによる収入	700,000	830,000
長期借入金の返済による支出	△633,775	△661,804
社債の発行による収入	—	100,000
自己株式の取得による支出	△21,495	△898
自己株式の売却による収入	—	36
配当金の支払額	△97,716	△84,458
財務活動によるキャッシュ・フロー	259,373	515,065
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	89,072	109,011
現金及び現金同等物の期首残高	475,992	408,130
現金及び現金同等物の四半期末残高	565,065	517,141

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成21年3月31日)

	港運事業 (千円)	通運事業 (千円)	倉庫業 (千円)	貨物自動車 運送業 (千円)	ローリー 運送事業 (千円)	不動産 貸付業 (千円)	その他 事業 (千円)	計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高										
(1) 外部顧客に 対する売上高	4,646,875	285,871	253,372	1,559,178	589,522	18,865	693,623	8,047,339	—	8,047,339
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	9,957	202	2,290	285,073	14,124	11,445	270,638	593,732	(593,732)	—
計	4,656,833	286,074	255,663	1,844,251	603,677	30,310	964,261	8,641,072	(593,732)	8,047,339
営業利益又は 営業損失(△)	568,840	△85,064	32,824	7,728	△28,226	△1,478	31,166	525,790	(215,083)	310,706

(注) 1 事業区分の方法は、当社及び連結子会社が採用している売上集計区分を勘案して区分しました。

2 事業区分に属する主な内容

事業区分	主な事業内容
港運事業	港湾運送事業、通関事業、船舶代理店
通運事業	J R コンテナ輸送
倉庫業	貨物保管事業
貨物自動車運送業	貨物自動車事業
ローリー運送事業	貨物自動車事業(ローリー輸送)
不動産貸付業	土地建物の賃貸
その他事業	網取放業務、商事部門、旅行部門

a. 事業の種類別セグメント情報

当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成22年3月31日)

	港運事業 (千円)	通運事業 (千円)	倉庫業 (千円)	貨物自動車 運送業 (千円)	ローリー 運送事業 (千円)	不動産 貸付業 (千円)	その他 事業 (千円)	計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高										
(1) 外部顧客に 対する売上高	3,410,599	154,072	239,288	1,376,505	510,082	261,858	823,759	6,776,165	—	6,776,165
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	2,012	3,569	1,399	256,618	19,739	7,806	192,846	483,992	(483,992)	—
計	3,412,611	157,641	240,688	1,633,123	529,822	269,664	1,016,605	7,260,158	(483,992)	6,776,165
営業利益又は 営業損失(△)	15,856	△67,382	43,565	13,572	4,637	117,132	△28,487	98,895	(187,557)	△88,662

(注) 1 事業区分の方法は、当社及び連結子会社が採用している売上集計区分を勘案して区分しました。

2 事業区分に属する主な内容

事業区分	主な事業内容
港運事業	港湾運送事業、通関事業、船舶代理店
通運事業	J R コンテナ輸送
倉庫業	貨物保管事業
貨物自動車運送業	貨物自動車事業
ローリー運送事業	貨物自動車事業(ローリー輸送)
不動産貸付業	土地建物の賃貸
その他事業	網取放業務、商事部門、旅行部門

3 当第1四半期連結会計期間にチューゲキ(株)の株式を取得したことにより、不動産貸付業における資産が前連結会計年度末に比べ増加しております。

総資産 3,375,281 千円

有形固定資産 3,231,697 千円

b. 所在地別セグメント情報

当第3四半期連結累計期間において在外子会社及び在外支店はありません。

c. 海外売上高

当第3四半期連結累計期間において、海外営業収益がないため、記載しておりません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。